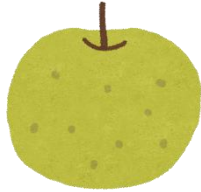


令和6年度
北海道教育大学
附属函館幼稚園だより
NO. 7【号】



教育実習



北海道教育大学附属函館幼稚園長 五十嵐 靖夫

2学期が始まり、6名の学生が教育実習を行っています。実は私も41年前、大学4年生の時に幼稚園で教育実習をしました。私は障害幼児のクラスに配属されましたが、そのクラスにケンちゃんという4歳児がいました。ケンちゃんは先天代謝異常症で、将来歩けなくなる、自発呼吸が困難になる、寝たきりの状態になるなどの可能性が高いと診断されていました。

私が実習生としてケンちゃんに関わっていた時は、ゆっくりですが歩けましたし、自分で食事をすることもできました。ケンちゃんとたくさん遊んで少しずつですが仲良くなり、お昼のお弁当を食べる時もケンちゃんの横に座って食べました。ある日のケンちゃんのお弁当は2段重ねで、下の段にはおいしそうな梨がいっぱい入っていました。ケンちゃんは梨が大好きだったようで、まず梨から食べ始めました。梨を次々と口の中に入れてケンちゃん、入れすぎて嘔むことができなくなったのです。ケンちゃん、困っています。しばらく考えていたケンちゃんは、口の中から梨を取り出して私の口の中に入れました。自分で困難を解決したケンちゃんの姿に感動し、私の口に入れてくれたこともうれしかったです。

附属幼稚園で園児たちがお弁当を食べている時に、ふとケンちゃんのことを思い出しました。ケンちゃんは、梨を口に入れすぎたから私の口に入れたと考えていましたが、ひょっとして口に入れた梨がおいしかったので、五十嵐にもあげようと考えたのかもしれない……そんな考えが突然浮かんできたのです。あの時のケンちゃんの行動の意味を自分は理解していなかったのかもしれませんが、ケンちゃんのことを思い出し、目の前にいる子どもの気持ちを「自分はわかっている」というのは驕りなのかもしれないと強く思いました。

教育実習は無事に終えた五十嵐でしたが、他の授業の単位を落とし、幼稚園免許は取得できませんでした。